

中国人大学生の呼称の使用実態に関する一考察

劉 寧

キーワード: 中国人大学生、呼称、家族内、学校内

要旨

日本語のように敬語を持たない中国語では、呼称は待遇を表現する際もっとも重要な役割を果たしている。本稿では、中国人大学生を対象として呼称の使用実態を調査した結果、以下のことが示された。家族内においては、目上の親族に対して、伝統的な親族呼称が使われているが、対等に呼び捨てで呼ぶ人も見られる。目上の親族に対して愛称で呼ぶことも多くなった。目下の親族に対して、呼び捨てと愛称で呼びかけることは多い。学校内においては、先輩に対して、社会通称は多用されている。後輩に対して、呼び捨てで呼ぶことが多い。友達の間、呼び捨てと愛称で呼びかける。親しい関係を持つなら、愛称で呼びかける。親族呼称は親族外においても多用されている。

1. はじめに

呼称は、その選択・使用によって人に対する尊敬や親近、また疎遠や憎悪などの感情を程度別に表すことができる。すなわち呼称の使用は話者間の人間関係の距離が反映されているといえることができる。

呼称にはそれぞれの国や言語に固有の形式があり、場所や人間関係による微妙な使い分けがある。適切な呼称の使用はコミュニケーションをうまく進めるための重要な条件である。したがって、話し手は声をかけるとき、相手の年齢、職業、地位、身分、世代を考えるとともに、自分との親疎関係や会話場面などの要素を考慮に入れなければならない。日本語のように敬語を持たない中国語では、呼称は待遇を表現する際もっとも重要な役割を果たしている。中国語の呼称について、與水(1977)は「相手をどのように呼ぶか、あるいは自分をどのように呼ぶかという呼称の問題に大きな比重が置かれる」と指摘した。

そこで本稿では、中国人大学生を対象として、日常生活における呼称の使用実態を明らかにする。

2. 先行研究

呼称に関する問題はすでに60年代から社会言語学者に注目されていた。BrownとGilmanは二人称代名詞の研究を通して呼称の選択はpowerとsolidarityによって決定されていると主張する。Powerとは身分、地位、年齢における優勢ということである。Solidarityとは人間の共通点であり、親しみの象徴でもある。

陳(1990)は中国語の親族呼称の特徴について考察し、親族呼称が四つの特徴をまとめた。①長幼の序が重視されている。②男女性別が明確である。③父系と母系の区別がついている。④宗族の観念が強い。

劉(2001, 2004)は中日の親族呼称と社会呼称について論じた。中国語と日本語を対照しながら分析し、文化背景の違いによる中日両国の呼称の異同について述べた。しかし、伝統的な親族呼称と新中国成立から改革開放前後までの呼称を中心に考察した。近年代の呼称の使用実態に関する研究は十分に行われていないと思われる。先行研究を踏まえて、中国人大学生を対象として、日常生活の中で呼称の使用実態を調査する。

3. 研究方法

3-1. 調査概要

2014年2月から3月までの間、中国の景徳鎮市と大連市の大学の中国人大学生340人を対象に、日常生活の中で使っている呼称に関する質問調査を行った。内訳は、男性は68名、女性は272名であった。外国語大学の関係で、女子大学生の比率が高い。被調査者の年齢は18歳～23歳であった。

家族内と学校内に分けて、大学生の呼称の使用実態を明らかにすることを目的として調査票を作成した。「両親と呼び合い」・「姉妹兄弟への呼びかけ」・「友人への呼びかけ」・「先輩/後輩への呼びかけ」・「教員への呼びかけ」・「職員への呼びかけ」など場面を設け、選択肢を示し、選択してもらう形式とした。選択肢の中に入っていない回答について、「その他」に具体例の記入欄を設けた。多様な呼称のバリエーションを収集するため、複数選択可としており、各回答者数は必ず100%とは限らない。

3-2. 呼称表現の分類

中国語の呼称は「称谓語」と「称呼語」の二つに分けられる。「称谓語」はおおむねに静態語彙で、一定な系統性、安定性、一定な地域内に社会性を持ち、本質的に書き言葉

の性質を持っている。それに対して、「称呼語」は使用状態の動態語彙で、非系統性、融通性を持ち、使用者の個人的な特殊性と個性があり、本質的に話し言葉の性質を持っている。話し相手に対して、「教師、学生、愛人、妻子、父親」など直接に呼ぶことができない名称は「称谓語」であるといえる。また、「老高、小劉」などの人間の互いの社会関係及び果たした社会役割を表せない名称は「称呼語」としてしか用いられない語彙である。本稿で扱う呼称は「称呼語」の用法であり、大学生が日常生活の中で使っている呼称表現を表1のように分類した。

表1 呼称の分類

種類	親族呼称			社会通称	役職名称	呼び捨て	愛称
	基本的	愛称的	俗語的				
語	爸爸	爸	老爸	老王	王老师	王建和	粑粑
例	哥哥	哥	老哥	同学、师傅	李主任	小明	宝贝

(1) 親族名称: 血縁や婚姻関係によってつながる親族関係者に対する呼び名である。

基本的—伝統的に使用されてきた親族名称

愛称的—基本的親族名称に手を加えて親しみを込めた親族名称

俗語的—公的な場面では使いにくい、ややぞんざいな印象を与える親族名称

(2) 社会通称: 世間一般に通用している呼称のことである。

「～さん」は日本語の日常生活の中で、最も一般的な言い方であり、よく使われている。「～さん」は、相手に対しての尊敬の気持ちは「～さま」より低い、この場合の「～さん」は、相手への軽い尊敬や丁寧さを表す。「～さん」をつけないと、失礼になる。このような場合の「～さん」が社会通称であり、中国語では日常生活の中での「～同志、老～、小～」などと対応している。

(3) 役割名称: 「先生」「院長」など相手を役職名で呼ぶものである。

(4) 呼び捨て: 他人の名前を呼称するときに敬称を付けず、苗字、名前、幼名だけを呼び名とする。

(5) 愛称: ニックネーム、あだ名を指す。中国語の愛称には、個人名の一部を略した呼び名、及び変化させた呼び名、または個人名とは関係ない、その人の特徴等に由来する呼び名が多く見られる。

4. 考察

4-1. 家族内の呼称について

4-1-1. 父母に対する呼称

目上の親族に対して親族呼称で呼ぶことは普通である。たとえば、子供は父親に対して呼びかける時には、日本語では「お父さん」「パパ」「おやじ」などで呼ぶが、中国語では「爸爸」「爸」「老爸」などで呼ぶ。

父母に対する呼称についての結果は表2、表3のように示される。呼び方は多様であり、親族呼称、愛称、社会通称などがある。

表2 父に対する呼称

呼称表現		呼び方	男 (%)	女 (%)
親族呼称	基本的	爸爸/爹爹	35.48	30.88
	愛称的	爸/爹	54.84	56.62
	俗語的	老爸/老爹	29.03	37.13
愛称		粑粑類	8.06	9.93
社会通称		老/小+姓	-	0.74
呼び捨て		姓名	-	0.74
呼称回避		呼ばない	-	0.37

表3 母に対する呼称

呼称表現		呼び方	男 (%)	女 (%)
親族呼称	基本的	妈妈	32.26	34.19
	愛称的	妈/娘	59.68	57.35
	俗語的	老妈/老娘	25.81	30.51
愛称		麻麻類	9.68	18.01
社会通称		老+姓	-	1.47
親族呼称		姓+阿姨/姐	-	0.74
呼称回避		呼ばない	-	0.37

今回の調査により、全体を見ると、伝統的な親族呼称「爸爸」「爸」「老爸」と「妈妈」「妈」「老妈」で父母を呼ぶことが多いが、そのうち、愛称的な親族呼称「爸」「妈」が一番多い。男子大学生と比べ、女子大学生が使っている呼称のバリエーションは多様で、社会通称、呼び捨てを使って呼ぶことだけでなく、自分の母親に対して、冗談の口調

で親族呼称の「姓+阿姨(おばさん)」「姓+姐(お姉さん)」で呼ぶこともある。そのほか、父と比べ、女子大学生は母に対して愛称を使う比率が高い。

4-1-2. 父母に呼ばれる時の呼称

父母に呼ばれる時の呼称表現を表4、表5のようにまとめることができた。

表4 父に呼ばれる時の呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
呼び捨て	姓名	38.71	17.28
	名	35.48	33.09
愛称	宝贝等	32.26	54.04
親族呼称	儿子/女儿/闺女	24.19	24.26

表5 母に呼ばれる時の呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
呼び捨て	姓名	35.48	12.05
	名	38.71	36.03
愛称	宝贝等	35.48	63.97
親族呼称	儿子/女儿/闺女	30.65	28.31

親が子供を呼ぶ時に、例えば、父親が息子を呼ぶ場合には、名前を使うか、「小強」のような名を使うか、「宝贝」のような愛称を使う。そのほか、親が子供を「儿子」と呼ぶような、目上の者が目下の者に親族呼称で呼ぶ場合もある。それは子供に対して特別な優しい気持ち、自分が親であるゆえの特別な感情を表わしたい場合は、親族呼称「儿子」「女儿」を使うのである。

愛称の使用について、父に愛称で呼ばれる男子大学生は32.26%であるが、女子大学生は54.04%である。母に愛称で呼ばれる男子大学生は35.48%を占めるが、女子大学生は63.97%を占める。つまり、女子大学生は男子大学生と比べると、親に愛称で呼ばれることが多い。

4-1-3. 兄弟姉妹に対する呼称

兄弟姉妹に対する呼称については、中国語では、兄弟姉妹の長幼を表す序数を呼

称の前につけて「三哥、二弟、四妹」のように呼ぶのが一般的である（一番上の人には「一」と言わず、「大」を使う）。このような形で呼ぶことにより、弟や妹が複数人いる場合でも呼ばれる人がただ一人に特定される。ただし、20世紀70年代から長い間、中国では一人っ子政策が実施されてきたため、今の子供たちは姉妹兄弟が少ないので、親族関係が次第に簡単になりつつある。

今回の調査では、兄弟姉妹がいる人は129人。年上の兄姉がいる人は50人、年下の弟妹がいる人は79人である。表6、表7は兄弟姉妹に対する呼称を集計した結果である。

表6 兄姉に対する呼称

呼称表現	呼び方	(%)
親族呼称	哥哥/姐姐	18.37
	哥/姐	61.22
	名+哥/姐	10.2
愛称	あだ名	18.37
呼び捨て	名	10.2
	姓名	20.41

表7 弟妹に対する呼称

呼称表現	呼び方	(%)
親族呼称	弟弟/妹妹	22.78
愛称	あだ名	51.9
呼び捨て	名	32.91
	姓名	36.71

年上の兄と姉に対して、伝統的な親族呼称が使われているが、対等に名前と名のよ
うな呼び捨てで呼ぶ人も見られる。年下の弟と妹に対して、愛称、呼び捨てで呼びか
けることが多い。「弟弟/妹妹」のような親族呼称で呼ぶことは年下の弟と妹に対して
特別な優しく、かわいがっている気持ちを表わしている。

4-2. 学校内の呼称について

4-2-1. 先輩・後輩に対する呼称

表8、表9は学校内の先輩と後輩に対する呼称の使用実態を男女別に集計したもの
である。

表8 先輩に対する呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
社会通称	学长、学哥/学姐	79.03	88.24
	同学	-	0.37
親族呼称	哥/姐	16.13	20.22
	姓/名+哥/姐	33.87	14.71
呼び捨て	姓名	6.45	9.93
	名	-	0.37
称呼回避	呼ばない	6.45	6.62

表9 後輩に対する呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
社会通称	学弟/学妹	33.87	36.76
	小+姓	19.35	11.4
	同学	-	4.04
呼び捨て	姓名	46.77	60.66
	名	29.03	28.68
称呼回避	呼ばない	12.9	5.51

先輩に対しては、「学长/学姐」類の社会通称はよく用いられている。「学长/学姐」は日本語の「先輩」と同じ意味、自分より年上、同じ学校に前に入っている人に対して使われている。表8から見ると、先輩に対して「学长/学姐」で呼びかける男子大学生は79.03%を占め、女子大学生は88.24%を占めている。

また、親族呼称は頻繁に使われている。親族呼称で親族以外の人に使うことは、人類学では親族呼称の虚構的用法(fictiveuse)と言っている。虚構的用法の一般原則は、話し手が自分自身を原点として、相手がもし親族だったら、自分の何に相当するかを考え、その関係に相応しい親族呼称を選んで呼ぶのである。(鈴木(1973))

今回調査の結果、中国語では非親族間においても親族呼称が拡張的に使われている。「哥(お兄さん)、姐(お姉さん)」、または「姓/名+親族呼称」などの組み合わせで相手をとらえることが多い。

後輩に対しては、名前と名のような呼び捨てで呼ぶことは多い。そのうち、女子大

学生が名前で後輩を呼ぶ人は男子大学生より多い。表9から見ると、60.66%の女子大学生は名前で後輩を呼んでいて、46.77%の男子大学生は呼び捨てで後輩を呼んでいる。そのほか、「学弟/学妹」「小+姓」のような社会通称で後輩を呼ぶ人もいる。

4-2-2. 友人に対する呼称

友人に対する呼称については、親疎関係を区別し、普通の友達に対する呼称は表10のようにまとめ、親友に対する呼称は表11のようにまとめた。

表10 友達に対する呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
呼び捨て	姓名	61.29	57.35
	名	41.94	47.79
社会通称	小+姓/名	12.9	22.79
愛称	あだ名	29.03	29.04
称回避	呼ばない	4.84	1.1

表11 親友に対する呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
呼び捨て	姓名	29.03	22.06
	名	41.94	37.87
社会通称	小+姓/名	22.58	23.9
愛称	あだ名	64.52	88.24
称回避	呼ばない	4.84	2.57

表10、表11から見ると、友達に対して呼び捨てで呼ぶことは多い。親密関係を持つ親友に対して、愛称が一番よく使われている。そして、愛称で親友を呼ぶ女子大学生の比率は男子大学生より高い。女子大学生は88.24%であるが、男子大学生は64.52%である。

学校内で使われている愛称には「亲」「美女」「欧巴」などがある。「亲」は親愛なる、ダーリンの意味で、最初はインターネットショッピングから流行ってきて、今は日常生活の中で、性別を問わずに、広く使われている。「美女」は女性に対する呼称である。近年、韓国のドラマが流行っているため、「欧巴」という呼称は外来語として定着した。

「欧巴」は韓国語の呼称「オッパ」の「お兄さん」の意味を借り、男性に対する親しい呼称となっている。これらの愛称は学校内の新型呼称だと考える。

4-2-3. 教師と職員に対する呼称

中国では、教師は世間に尊敬される職業であり、特に大学の教師は学徳の優れた人とみなされる。教師に対する呼称は表12のように集計した。

表12 教師に対する呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
役職名称	老师	58.06	62.5
	姓/名+老师	80.65	88.6
	老板	1.61	1.84
	教授、主任等	14.52	9.93
称呼回避	呼ばない	-	0.37

中国語の役職名称の中で、「老师(先生)」は職業の性質からその自体が敬称となる。表12から見ると、男女を問わず、大部分の大学生は「老师」という役職名称で教師を呼ぶ。大学生は社会地位が高い教師に対して「老师」で呼ぶことは敬意を表している。「姓/名+老师」で呼ぶのは教師を区別するためである。「教授、主任」のような肩書きで呼ぶ人もいる。

日本語の「先生」は何かを教える人、政治家、医師といった決まった分野の人に対して使われるが、中国語の「老师」は日本語の「先生」より、もっと使用範囲が広い。表13のように集計した結果、教務あるいは図書館など事務関係の職員に対しても、「老师」という役職名称で呼ぶかける人が多い。

表13 教務、図書館などの職員に対する呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
役職名称	老师	72.58	83.46
親族呼称	阿姨、叔叔等	35.48	36.03
称呼回避	呼ばない	6.45	2.57

同じ大学に勤める職員であり、寮と食堂などの職員に対して、「老师」で呼ぶことはなく、「叔叔、阿姨」のような親族呼称で呼びかけることが多い。そして、年齢により、

「大姐」「阿姨」「大妈」などの親族呼称の中からふさわしい呼称を選ぶ。表14を見よう。寮と食堂などの職員に対して、大部分の大学生は親族呼称を使って呼んでいる。社会通用の「师傅」「同志」などの使用率が低い。

表14 寮、食堂などの職員に対する呼称

呼称表現	呼び方	男 (%)	女 (%)
親族呼称	叔叔、阿姨等	75.81	89.34
	大爷、大妈等	48.39	36.76
社会通称	师傅、同志	19.35	12.5
称呼回避	呼ばない	4.84	2.57

大学の職員に対しては、相手の仕事の性質によって、呼称の選択は違ってくる。教務と図書館のような学習生活に係る職員に対して、「老师」で呼びかけることは多い。それに対して、寮と食堂のような日常生活関係の職員に対して、「叔叔、阿姨」という親族呼称で呼びかけることは多い。

教務と図書館の職員は教師という職業を務めていないが、「老师」という役職名称で呼ぶのは敬意を表している一方、相手の名前と具体的な職務がわからず、「老师」という呼び方は便宜な呼び方になっている。「老师」の使用は一般化(Generalization)現象である。

5. 終わりに

今回の調査により、中国人大学生が日常生活における呼称の使用実態を以下のようにとまとめることができる。

- (1) 家族内において、目上の親族に対して、伝統的な親族呼称が使われているが、対等に呼び捨てで呼ぶ人も見られる。目下の親族に対して、呼び捨てと愛称で呼びかけることは多い。
- (2) 学校内において、先輩に対して、社会通称の「学长/学姐」は多用されている。後輩に対して、呼び捨てで呼ぶことが多い。友達の間、呼び捨てと愛称で呼びかける。親しい関係を持つなら、愛称が多用されている。

「老师」という役職名称は大学内に教師に対する呼称だけでなく、一般化されている。そのほか、相手の年齢や場面に応じて、「哥/姐」「叔叔/阿姨」のような親族呼称を借用して虚構的親族関係を作って呼称する。新中国の成立以来よく使

われていた「同志」「师傅」等の呼称はあまり使わなくなり、「亲」「美女」「欧巴」などの新型呼称は定着されていると考える。

- (3) 男女別による呼称使用の違いが一部見られる。男子大学生と比べ、女子大学生が使っている呼称のバリエーションは多様である。親しい関係を持つなら、女子大学生はより積極的に愛称を使う。親に呼ばれる時にも、女子大学生が愛称で呼ばれる比率は高い。

中国人呼称の使用には新しい変化がでてくる。家族内に長幼の序は緩やかになる傾向であるため、目上の親族に対して愛称で呼ぶことも多くなった。中国では一人っ子政策を実施してきたため親族呼称は簡単になった。しかし、今年から「单独二孩」政策(夫婦の一方が一人っ子の場合、第2子の出産を認める政策)の実施とともに、親族呼称また変わっていくと予測している。

以上、日常生活における中国人大学生の呼称の使用実態を考察した。ただし、本調査は大学生に限定されているため、現代中国語における呼称の全体的な使用実態についてはまだ不十分である。これからは、小学生、中学生、社会人、夫婦などを調査対象の中に入れて研究したい。

参考文献

- Brown and Gilman(1960) *The Pronouns of Power and Solidarity*. MIT Press, pp. 252—281
- 陳 露(2001)「現代日中両言語における親族呼称の対照研究」『千葉大学社会文化科学研究』5, pp. 21—31
- 陳 月明(1990)「現代漢語親屬稱謂系統以及文化印記」『漢語學習』vol. 5
- 與 水優(1977)「中国における敬語」『岩波講座日本語4』岩波書店
- 国広哲弥(1990)「呼称の諸問題」『日本語学』明治書院 vol. 9, pp. 4—7
- 劉 柏林(2001)「中日の親族呼称について」『言語と文化』No. 5, pp. 61—78, 愛知大学
- 劉 柏林(2004)「中日の社交呼称について」『言語と文化』No. 11, pp. 35—50, 愛知大学
- 鈴木孝夫(1973)『ことばと文化』岩波書店
- 孫 維張(1991)『漢語社会言語学』貴州人民出版社
- 薛 鳴(2000)「親族名称に見られる関係表示—日本語と中国語の比較から—」『社会言語科学』第2巻第2号, 日本社会言語科学会 pp. 43—57
- 鄭 献芹(2006)「近十年来漢語稱謂詞語研究概況及分析」『江西社会科学』